

街なか拠点施設のイベントが中心市街地への訪問行動に及ぼす影響に関する研究

秋田大学 学生会員 ○佐藤 翔
秋田大学大学院 正 会 員 鈴木 雄
秋田大学大学院 正 会 員 日野 智

1. はじめに

現在、地方都市では中心市街地の衰退が進んでいる。中心市街地の活性化策として、大型商業店の誘致やアーケードの設置などハード面での整備も必要であるが、財政の面などから制約が存在する。そこで、様々なイベントの開催など、ソフト面での活性化も取り組まれている。秋田市では、JR秋田駅周辺地域に拠点と位置付けられる複合商業施設「エリアなかいち」が誕生した。「エリアなかいち」は中心市街地全体のにぎわいの創出や回遊性を向上させる役割が期待されている。しかし、その効果は明らかとなっていない。本研究では、「エリアなかいち」で行われるイベントに着目し、秋田市民のイベントへの参加意識やイベントを中心とした回遊行動を明らかにすることを目的とした。

2. 本研究における調査対象地域と調査の概要

(1) エリアなかいちの概要

本研究は、「エリアなかいち」を対象とした。秋田市中心市街地内で中央街区として定められている区域及び訪問者が多いと考えられるJR秋田駅から西方約650mに位置し、商業棟、新県立美術館、にぎわい広場、にぎわい交流館などの多様な施設が存在している。また、竿灯妙技大会をはじめ、各種イベントに使用される場でもある。

(2) インタビュー調査と行動調査の実施

アンケートの事前調査として、インタビュー調査を行った。この調査では、イベント開催時の「エリアなかいち」の訪問者を対象とし、イベント後の訪問行動を把握することを目的とした。行動調査は平成24年12月24,25日に「エリアなかいち」において行った。行動調査票は住宅配布用と「エリアなかいち」でのイベントに配布用の2種類を用意した。住宅では投函配布・郵送回収、「エリアなかいち」では直接配布・郵送回収で調査を行い、住宅から68票、「エリアなかいち」で60票を回収した。

3. イベントへの参加や意識

秋田市内および「エリアなかいち」へのイベントの参加状況を図1に示す。

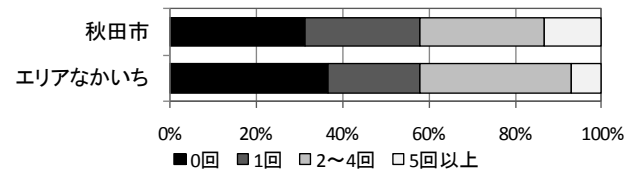


図1 イベントへの参加状況

秋田市、「エリアなかいち」とともに一度もイベントへ参加したことがない被験者が30%以上もいた。ただし、「エリアなかいち」では、イベント開催時に調査票を配布しているため、0回はほぼありえない。イベントが美術館主催のイベントであったため、それを「エリアなかいち」でのイベントと認識していない可能性がある。秋田市のイベント参加回数が0回の人、小さなイベントなどはイベントと認識せずに0回と回答した可能性がある。次に、イベントが好きかどうかを質問したところ50%近くの被験者が「好き」もしくは「まあまあ好き」と回答した(図2)。その一方で、「嫌い」「やや嫌い」と回答する被験者も20%近く存在した。興味があるイベントでは、音楽に関するイベントや季節を楽しむイベントなどが多く回答された(図3)。

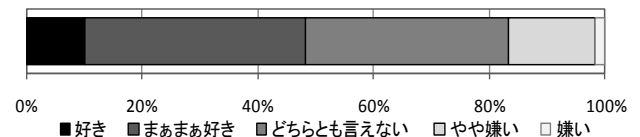


図2 イベントに対する意識

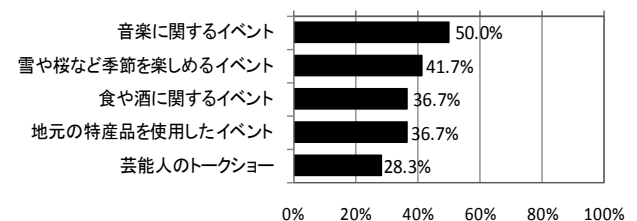


図3 興味のあるイベントの内容

キーワード：拠点施設、イベント、中心市街地活性化、意識調査分析

連絡先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号 TEL:(018)-889-2767 FAX:(018)-889-2975

5. 滞在特性の分析とエリアなかいちの満足度

(1) 訪問手段や滞在時間などの滞在特性

行動調査において、エリアなかいちで回答してもらった被験者と住宅地でイベントに参加していない被験者（中心市街地）とで区別して分析を行った(図 4)。中心市街地とエリアなかいちとの比較では、エリアなかいちへは徒歩で訪問する被験者が多い。また、訪問施設数と滞在時間はややエリアなかいちが多いものの、消費金額は中心市街地の半分以下である。次に、エリアなかいちを訪問した被験者に着目する。エリアなかいちのみを訪問した被験者と、エリアなかいち以外も訪問した被験者との比較では、訪問施設数、滞在時間、消費金額のすべてでエリアなかいち以外も訪問した被験者が上回る結果となった。エリアなかいちを訪問した際に周辺の商店街などに行くことで滞在時間が延び、消費金額も上がったことが予測される。

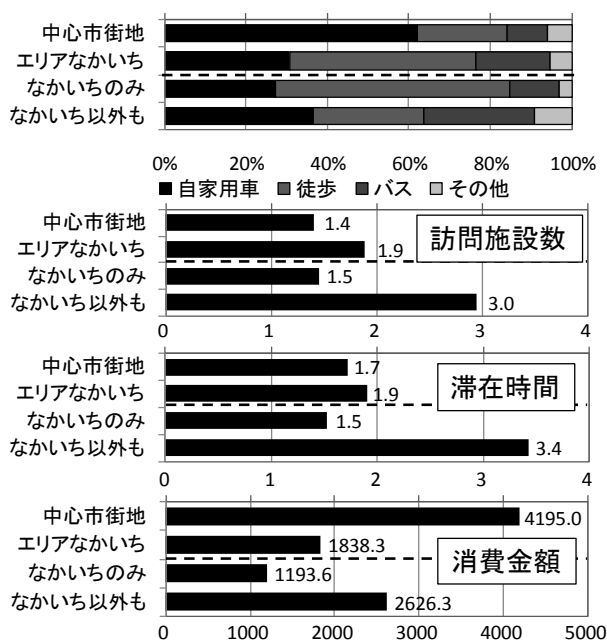


図 4 イベント訪問時の滞在特性

エリアなかいちを訪問した際に広小路や仲小路などの周辺商店街まで歩く人は 63%である。それ以外の人で周辺商店街の利用意向をみると、59%の人が周辺の商店街に行く用事がないと回答している(図 5)。

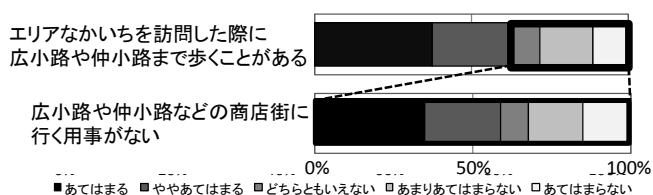


図 5 周辺商店街への移動と利用意向

(2) エリアなかいちの満足度と満足度への影響

エリアなかいちの各項目の満足度を図 6 に示す。また、エリアなかいちの総合満足度に与える影響を把握するために、外的基準をエリアなかいちの総合満足度、アイテムを各項目の満足度として数量化理論 II 類を用いて分析を行った(図 7)。アクセスの満足度は他の項目よりも大きい。これは、エリアなかいちの駐車場が近隣の私営駐車場よりも安めに設定されていることや、エリアなかいちを通る循環バスが運行されたことによるものと考えられる。総合満足度に与える影響も低いために、このままのアクセス性を確保していく必要がある。

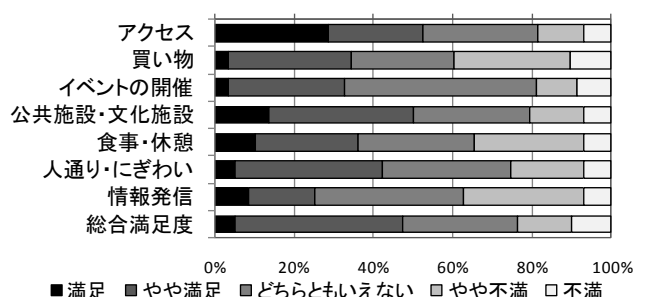


図 6 エリアなかいちの満足度

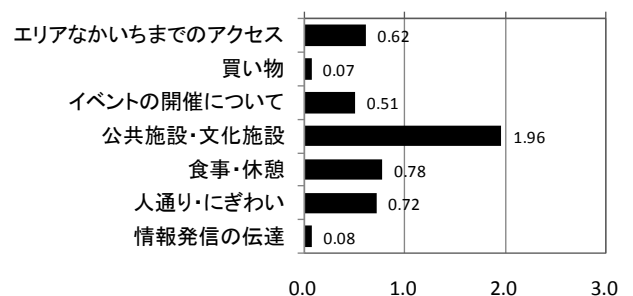


図 7 総合満足度に与える影響

7. おわりに

イベントについて約半数の被験者が好きと回答している。しかし、その意識がイベントへの参加には結びついていない。興味のあるイベントとして、音楽に関することや季節感が味わえるもの、食に関することが多く挙げられた。これらのイベントを開催することで集客が見込める。エリアなかいちを訪問した人の中でも、周辺の商店街に行く被験者は滞在時間や消費金額が大きい。エリアなかいちから周辺商店街へ行くことが無い被験者の中で多くの被験者が周辺商店街へ行く用事がないと回答している。周辺商店街とエリアなかいちとのイベントなどでの協力などによりこれらが改善されることも考えられる。